

クロマツ探検隊出動

春の日差しも一段と暖くなる季節を迎えましたが、酒田市の西荒瀬保育園の年長組が近くの松原ラインでクロマツ林の探検を行いました。

西荒瀬保育園は、平成20年度山形県みどり環境公募事業の認定を受け、「みどり環境税」の支援により保育園児の森林環境教育を展開することになりました。今回はそのスタートとなる第1回目の事業となります。

当日の天気は曇り空ながら暖かく、38名の園児達は探検箇所まで約15分を、道端に咲いている山野草を見ながら楽しそうに歩きました。

探検場所では、最初にカラスの死骸を発見しました。他の動物に食べられた跡を驚いて見ていましたが、野生動物は強いものが弱いものを餌にして生きていることを説明すると、園児達も真剣に聞いていました。

周りの樹木の花や若芽の説明を聞いたり、望遠鏡でサギの巣を眺めたりと、園児達は好奇心一杯で、森林に興味を持って学んでいました。

探検の指導には朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員全員でありましたが、園児達の素朴な質問に担当者が答えられず笑いを買う場面もあり楽しい探検となりました。

後半はクロマツ林に入り、色々な種が飛ぶ原理を体験したり竹笛を鳴らしたりして楽しく学習し、最後に全員でおやつを食べて保育園まで歩いて帰りました。

次回の活動は、昨年6月に園児達が植樹したクロマツ林の下刈りを行います。園児達には鎌作業は危険なので、ハサミでクロマツ周辺を坪刈りする「チョッキン草刈り隊」として、市町村や森林ボランティア団体などの支援を受けて出動する予定です。



なにに見える？



まっぴのんぽう、まわった！



竹笛 なたた？



カエル、つかまえた！



アオサギ

